

野ねずみ対策をしっかりと行ない、苗木や若木を食害から守ろう！

気象庁発表の3カ月予報では、今年は平年と同様に雪や雨の日が多いと予想されています。早い年では11月下旬から根雪になる事もあるので、根雪前に苗木や若木を中心に野ねずみ対策を万全に行ないましょう。野ねずみ対策と同様に、苗木や若木中心に雪害対策も行うようにしましょう。

◆野ねずみ被害防止対策

○ポイント1 園地の清掃

- ・積雪前に、落ちているりんごや野菜などの残渣はきれいに片づけ、野ねずみのエサとなるものを園地に残さないようにしましょう。
- ・りんご園に多く生息するハタネズミは、暗い所を好んで巣を作ります。雑草が茂る所は草刈りを行い、住みにくい環境を作りましょう。特に樹幹下は丁寧に除草しましょう。

○ポイント2 殺そ剤で生息密度の低下

- ・殺そ剤は、広域一斉に実施するようにしましょう。
- ・殺そ剤をねずみ穴に投入する際は、投入する2～3日前にねずみ穴を一度塞いで、その後新しく開いた穴に投入すると効果が高くなります！
- ・食い付きが悪い場合は、殺そ剤を含まない餌を与えて2～3日後に殺そ剤を置くと効果的です。
- ・忌避剤も併用して使用することで、被害の回避が期待できます。



◆主な殺そ剤と忌避剤

種類	名称	規格	処理方法
殺そ剤	Z・P	500g (小袋)	1穴あたり1袋 (小袋) 投入します。
		1kg (バラ)	1穴あたり3g程度使用します。
忌避剤	フジワン	200g/1樹	根雪前に幹の周り50cm程度にバラまき、土と混和します。
	アンレス	500g	10倍に希釈し樹幹に塗布、または散布します。

チューブプロテクターや苗木ガードなどの資材も併用すると、より被害が少なくなります！

◆根雪前の雪害対策

- 苗木・若木は、主幹や枝をひもなどで結束しましょう。
- 成木 (マルバ台木) は、雪害を受けそうな枝に支柱入れを行い、不要な場合は大枝単位で剪去しましょう。(剪去した切り口には塗布剤を忘れずに！)
- わい化樹は、枝の中央からやや枝先が上向きになる程度まで吊り上げましょう。(不要な下枝の剪去も合わせて行いましょう)

※近年、苗木や若木の凍害による枯死が増えています！白塗剤 (ホワイトンペースト等) の使用など、凍害被害の軽減にも努めましょう！

○令和4年用予約農薬・防除暦説明会を開催します○

来年用の予約農薬の取扱いと防除説明会を下記の日程で行います。今年の防除での問題点や、来年の栽培に向けた疑問・質問がある方はぜひご来店下さい。(農薬や防除以外の質問でもお気軽にどうぞ！)

◆藤崎支店 11月25日 (木) 17時00分～ 支店2階会議室

◆和徳支店 11月25日 (木) 17時00分～ 支店会議室

肥料とりんご袋の締切りも12月10日までですよ～！

◆予約申込み受付中！締切りは12月10日(金)までです！◆